

基本問題

地図 四大公害の発生地域

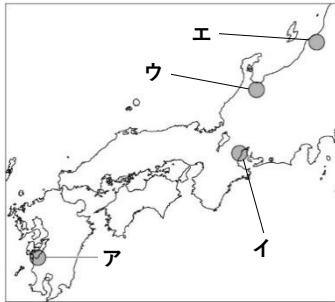


表 四大公害病の裁判

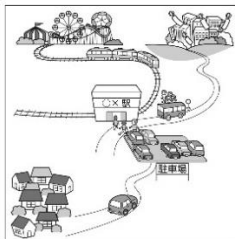
	ア	イ	ウ	エ
公害	A	B	C	D
県	E	F	G	H
原因	有機水銀 水質汚濁	亜硫酸ガス 大気汚染	カドミウム 水質汚濁	有機水銀 水質汚濁
提訴	1969年6月	1967年9月	1968年3月	1967年6月
判決	1973年3月 患者側全面勝訴	1972年7月 患者側全面勝訴	1972年8月 患者側全面勝訴	1971年9月 患者側全面勝訴

- ① 地図中ア～エの地域で発生した、表中A～Dにあてはまる四大公害病の名称をそれぞれ書きなさい。
- ② 表中E～Hにあてはまる県名をそれぞれ書きなさい。ただし、Eは2つの県名を書くこと。
- ③ 1993年に制定された、日本の環境保全についての基本理念を示した法律を何というか。
- ④ 資源の再利用や再資源化により、資源を有効活用することで廃棄物を少なくして環境に与える負担を少なくする社会を何というか。
- ⑤ 環境と経済が両立した④の社会を形成していくための3つの取組の頭文字をとった3Rとは何か。3つすべて書きなさい。

①	A	水俣病	B	四日市ぜんそく	C	イタイタイ病	D	新潟水俣病
②	E	熊本県、鹿児島県	F	三重県	G	富山県	H	新潟県
③	環境基本法		④	循環型社会		⑤ リデュース、リユース、リサイクル		

発展問題

資料1 パークアンドライド



資料2 輸送量当たりの二酸化炭素の排出量(旅客)

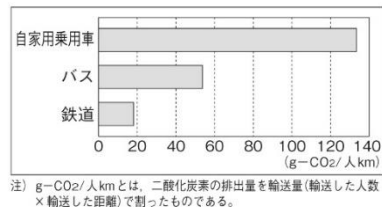


表1 公害や環境に関する年表

1890年	足尾銅山の鉱毒被害が拡大
1967年	(A) が制定される
1971年	環境庁が設置される
1993年	(B) が制定される
1997年	地球温暖化防止京都会議が開催される
2000年	循環型社会形成推進基本法が制定される
2001年	(C) が設置される
2022年	Xプラスチック資源循環法が制定される

資料3 プラスチック削減

削減対象の例	対象業種
フォーク	コンビニ
スプーン	スーパー
ストロー	飲食店
くし	ホテル
歯ブラシ	旅館

- ① 資料1はパークアンドライドとよばれ、郊外から仕事場や観光地等へ集中する自動車交通を、バス、鉄道等の公共交通の利用を促して渋滞を緩和する手法である。この手法によって環境面で期待されることを、資料2を参考にし書きなさい。
- ② 表1中の(A)と(B)には法律名を、(C)には行政機関名(省庁名)をそれぞれ書きなさい。
- ③ 傍線部Xの法律の制定によって、コンビニやホテルといった企業などが主に無料で提供している、資料3を含む全部で12のプラスチック製品が削減対象となった。そこで、企業側はどのような取り組みを行っているか、資料3の削減対象のプラスチック製品を参考にし、その取り組みを具体的に2つ書きなさい。

①	(例) 自動車よりも二酸化炭素排出量が少ない電車やバス(パークアンドライド)を利用することで、二酸化炭素の排出が軽減されて、地球温暖化防止につながることを。					
②	A	公害対策基本法	B	環境基本法	C	環境省
③	(例) 紙や木でできたストローを提供している。 (例) ホテルなどで歯ブラシを客室に置かないようにした。			(例) フォークやスプーンを有料化した。 (例) くしや歯ブラシを環境に配慮した素材に変更した。 などから2つ		